

自民党衆議院埼玉県第 3 選挙区（越谷市・草加市）支部長

自立と誇りある
日本をつくりますきかわだひとし
安倍新総裁誕生を機に思うこと 黄川田仁志

特集 私は憲法改正に積極的に取り組みます！

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第 15 号

※『きかステ』と呼んでください！

～安倍新総裁誕生を機に思うこと～

自由民主党埼玉県第三選挙区支部の黄川田仁志です。

10月26日に自民党の総裁選挙が行われ、安倍晋三新総裁が選出されました。

安倍総裁は、皆様ご承知のとおり、元総理大臣です。前安倍政権時には、教育制度改革、公務員制度改革、防衛相昇格等重要な政策を実現しましたが、体調を崩され、任期途中で総理を辞任されました。今回は、体調も万全。石破茂新幹事長共々、日本のため、国民のために、しっかりリーダーシップを発揮していただきたいと思っています。

安倍総裁のキャッチフレーズは「日本再起 強い日本で、新しい「日本の朝」へ」です。尖閣諸島などの領土問題、長引くデフレ不況、遅延する被災地復興など、未曾有の国難を解決すべく、国が強い意志を持って行動する。私は、安倍総裁のこの方針に賛同します。

民主党政権になり、国の意志は弱くなりました。彼らの政治には、信念がありません。現に、民主党には、どのような国づくりをめざすのか、それらを定めた綱領がありません。明確な方針の無い政党に、国のかじ取りができるはずがありません。まさにその結果が、今の国政に現れているのではないのでしょうか。

自民党は、結党以来の綱領、平成17年の新綱領に加え、新たに平成22年綱領を策定しました。長年、政権与党としてかじ取りをしてきましたが、先の総選挙での大敗を機に、日本のために、今一度、自民党はどうあるべきかを考え直し、策定されたものです。

責任ある政治を実現するためには、どのような国づくりを目指すのか、その信念と方向性を明確することが欠かせません。

平成22年綱領では、自民党が真の保守政党であること、日本人自身の手で新憲法の制定を目指すこと、「和と絆」のある社会を目指すことなどが明記されています。今の自民党には、この綱領を基にした、日本を再起するための具体的なシナリオがあります。長年培われた政権与党としての歴史だけでなく、その歴史を糧に、さらに進歩を目指す。これこそが新生自民党の真骨頂と言えます。

さらに、自民党は、次期衆議院議員選挙をめざし、全国の候補予定者を公募で選任し、人材面でも大幅な若返りを実現しました。私も、その公募によって選ばれた新しい支部長の1人です。次の衆議院議員選挙後の自民党は、全国で、新しい顔ぶれにあふれていることと思います。

「歴史と新しい人材の融合」によって、自民党は新しく生まれ変わり、確実に進歩しています。そして、安倍新総裁のリーダーシップの下、責任政党・国民政党として、政権奪取を目指します。

新総裁、新役員と共に、信念ある政治を実現すべく、保守政治家の1人として、私も今まで以上に積極的に活動していく所存です。皆様、私、黄川田仁志と共に、日本の再起を成し遂げようではありませんか。

今後とも、ご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

私は憲法改正に積極的に取り組みます！～日本人による日本人のための憲法へ～

自民党は、結党以来、「憲法の自主的改正」を党の使命としてきました。私、黄川田仁志が、自民党から国政に挑戦する決意をしたのも、その使命があったからです。私がめざす「自立」と「誇り」ある日本を実現するためには、自分の国は自分で守ることのできる体制を整える必要があります。憲法改正を何としても実現しなければなりません。

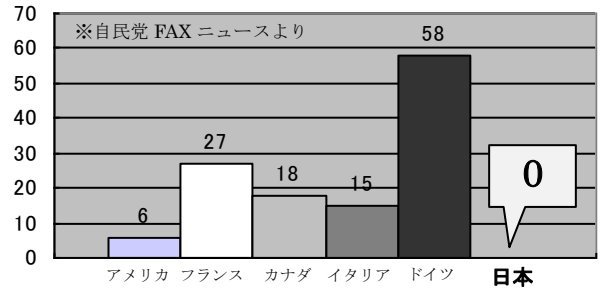
右のグラフは、諸外国が、戦後、どのくらい憲法を改正してきたかを表したものです。このグラフからわかるとおり、諸外国は、時代の要請に合わせて憲法を改正し、新しい国の課題に対応していることがわかります。

日本も、戦後復興期、高度成長期などの時を経て、様々な状況が変わりました。特に現在は、少子高齢化という、これまで人類が直面したことのない事態に遭遇しています。経済活動を維持し、日本の繁栄を実現するためには、主権国家としての明確な意思と、それを担保する自主憲法が必要です。

自民党は、米国の占領から独立してから 60 年目の今年 4 月、憲法改正草案を発表しました。次期衆議院議員選挙においても、憲法改正を掲げ挑みます。憲法問題に、正面から具体的に取り組んでいる政党は自民党しかありません。下記は、自民党憲法改正草案の概要です。

(詳しくは自民党公式 HP をご覧ください→http://www.jimin.jp/policy/policy_topics/pdf/seisaku-109.pdf)

諸外国の戦後の憲法改正



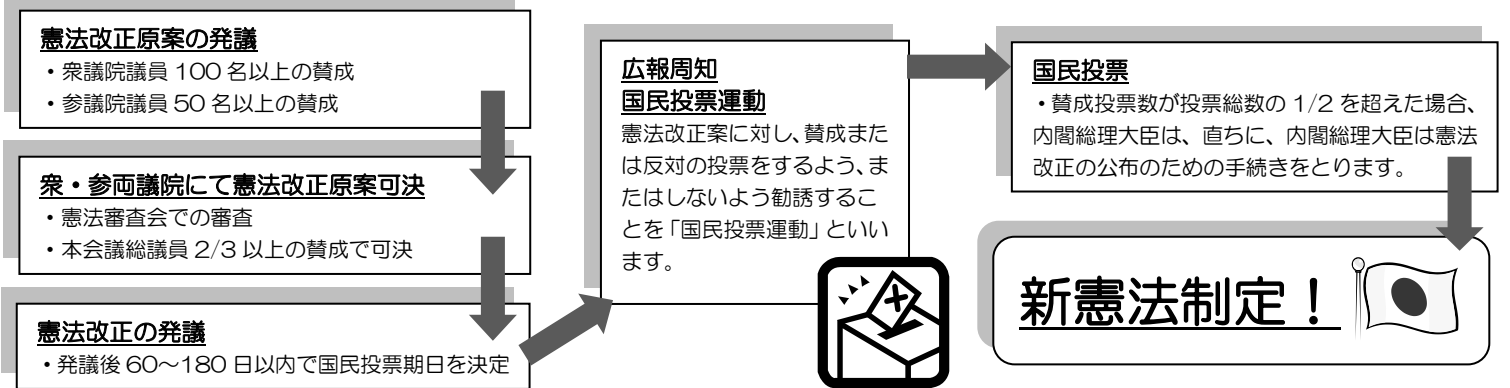
【自民党憲法改正草案の特徴】

- 前文は、家族と社会の和、国と郷里の自立と誇り、良き伝統の継承、国土と環境の保全について言及
- 天皇が元首、国旗・国歌の規定 ●自衛権の明記、国防軍の保持、緊急事態条項の新設
- 選挙権（地方選挙含む）に国政要件を規定 ●家族の尊重 ●環境保全の責務 ●財政の健全性の確保 等

現行憲法では、憲法改正の国民投票に係る条文はあるものの、具体的手続きを定めた法はありませんでした。

しかし、平成 19 年 5 月、安倍政権時に、憲法改正国民投票法案が可決され、平成 22 年 5 月 18 日より施行されており、憲法改正も絵に描いた餅ではなくなりました。詳しくは下記の憲法改正の手順をご覧ください。

日本人による日本人のための憲法を制定する。私は、このことに全身全霊で取り組むことを誓います。



～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2 丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大学卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和 45 年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・落語